

# 過度に自動車に依存した交通環境の改善に関する研究



## Keyword

交通計画、都市・地域計画、交通安全教育、交通需要マネジメント、モビリティ・マネジメント

連絡先 建築土木工学科 准教授

吉村 朋矩

電話 0776-29-2574

E-mail yoshimura@fukui-ut.ac.jp

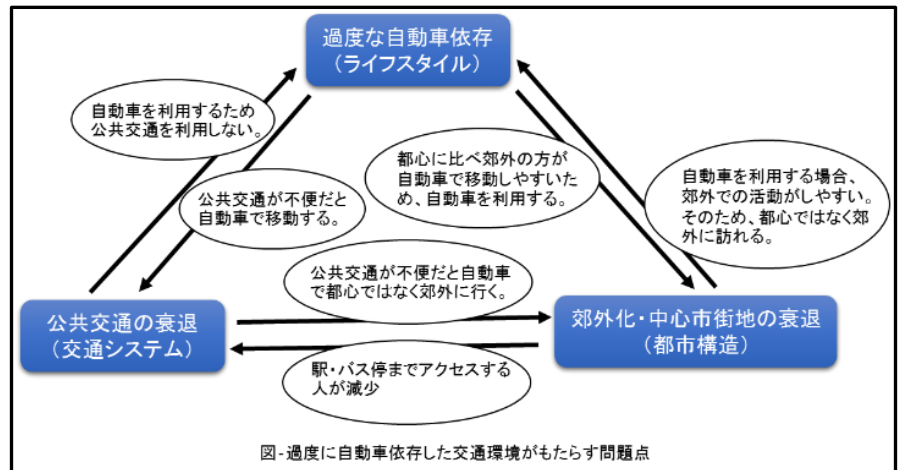


Honda 製自転車シミュレーター

現在、都市が抱えている問題を解決するためには、「自動車から他の交通手段への転換」が必要とされています。「誰もが暮らしやすいと思えるまち」の形成を目指し、市民・行政・産業界の方々と一緒に「過度に自動車に依存した交通環境の改善」に取り組んでいきたいと考えています。

1960年代以降の過度なモータリゼーションに伴い、特に過疎地を含む地方都市では現在、自動車が主たる交通手段になっていることから、都市の郊外化・中心市街地の衰退が進むとともに、公共交通の需要が低下しています。このことから、交通事業者は赤字路線の撤退や減便を行うため、自動車を利用できない人々にとっては「暮らしにくいまち」になってしまいます。このような都市の問題や環境問題を解決するためには、過度に自動車に依存した交通環境は望ましくなく、徒歩や自転車、公共交通が主体となる交通環境に改善し、自動車と上手につきあっていく必要があります。

そこで私の研究室では、Honda 製自転車シミュレーターを導入し、自転車を利用する際の交通ルール及びマナー、まちの中での危険箇所を事前に教育するとともに、自転車利用の魅力を伝えることにより自動車から自転車への転換を促す取り組みを行っています。その他にも現在、歩行者・自転車の通行空間の安全性の向上に関する研究、自転車利用観光者のためのホスピタリティの観点からみた利用環境向上に関する研究を行っています。さらに、歩行者・自転車交通に関する研究に加えて、地域の生活交通を支えるためにも安定した公共交通サービスの提供と利便性向上の必要性に関する研究を行います。環境・都市の問題を解決するためにもこれらの研究を通して、過度に自動車に依存した交通環境の改善に向けた取り組みを行い、「誰もが暮らしやすいと思えるまち」の形成を目指していきたくと考えています。



## 《 共同研究の相手となる業界等 》

鉄道業、道路旅客運送業、学校教育、政治・経済・文化団体、国家公務、地方公務

## 《 参考文献 》

- 1) 広幅員歩道における自転車利用者・歩行者の通行遵守意識とその実態, 吉村朋矩, 三寺潤, 和田章仁, 第32回交通工学研究発表会論文集, pp.443-446, 2012.
- 2) Study on characteristics of space formed by promenade behaviors, Tomonori YOSHIMURA, Akihito WADA, Proceedings of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.8, pp.232-248.2010.